

て就に育教樂音の兒幼

—らか場立の姆保—

部樂音會究研會りごみ

みどり會研究会音樂部

では幼児の音樂教育の重要性に鑑み、昨秋十一月から、弘田龍太郎先生にお願ひして部員の質問疑問に答へて頂くと同時に、幼児の歌の作曲に就いて數回に亙つてお講話を、又リズム遊びの實際を練習致しました。四月からは和聲樂に入りました。が之は紙上だけでは會得し難い點が多いので、此處には主として三月迄の、幼児の歌の作曲と幼児の音樂觀賞に就て研究を略記致し御報告に代へます。

第一回

幼児の音樂教育の目的

は？

それは「情操教育」で

ある。

A、文部省小學校細目(來春實施さる國民學校に於て)

鑑賞 音感(強弱等)リズム

B、幼稚園：基礎的訓練 之は近來非常に重要視されてきた、音樂を幼児の實生活と結びつける、音感

教育の一部、何を叩くか聞いてみさせるこいふ耳の訓練が必要である。

C、小學校と幼稚園との情操教育の相違 年齢が多くなる程豊富になつてゆく、幼稚園時代は未だく範圍が狭い。故に幼児の情操教育にはのびくこしたものを中心にこりいれ度い。時には落ちついたもの、又明るい朗らかなもの等もよい。

曲の選び方は？

1、レコード童謡

曲内容の良否よりも聞いて好ましい感じを受ける曲を選ぶのが普通である。世の多くの母親達は幼児のためにレコードを選ぶ時、そのレコードが如何に教育的であるか等を考へない。

子供のためにこいふのでなく、母なり姉なりが、レコード屋の店頭で、始めの三十秒位きいて、その曲の明るさ朗らかさを決定して求めてしまふ、下品だの上品だのこかまつていないのである。つまり内容が如何に

空つぼでも調子が良く、擬音が多くて面白ければよいとしてゐるので、作曲家もそのつもりで曲を作るのである。故に伴奏に用ひる楽器にはジャズのみに用ひる楽器を使用してゐるのが多い。最近は大分改つて來たがこのまゝころをよく考へねばならぬ。レコード童謡に流行歌は紙一重程の相違である。レコード童謡にジャズ楽器を用ひる事は無論控へるべきである。單にレコードに飛びつくは危険である。

2、歌はせる童謡

作曲家が子供になつて作曲したものが良い。

子供の教育に於ける教育的明るさ。のびのびした氣持は是非必要だ、幼児の生活自體にあるものでなければならぬ。

幼児の歌の導き方は？

指導法は「子供自身が歌ひ出す様に」

幼児の鑑賞教育は？

小學校で大體徹底するのは小學校五年以上六年から高等科一、二年であつて、低學年には少し無理ではないか。まして幼児には徹底した理解は望みにくい、しかし之を行ふ必要はある。出来るだけ解り易い曲、そして出来るだけ解る様に指導する。

第二回

「問答」理論家(弘田先生)實際家(研究員)

弘田 子供が實際習つたものは別として、器樂をきかせる事を喜ぶだらうか

研 始めの二、三分は聞くが、そばにあるものに氣が散つてしまふ

弘田 それは無理のない事だ、放送で效果の上らないのも無理はない、餘り多くを望んではならないわけだ、現在やつてゐる歌(子供の知つてゐる歌)を聞かせる場合はどうか？

研 レコードの音が消えてしまふ程大きな聲で強く歌ふ弘田 さうでせう、それは決して鑑賞してゐるのではない、幼児に徹底的な鑑賞は無理である、尤も鑑賞の對象として一番氣を引かれるものは、部屋を出入する時に用ひるマーチ踊りに付けた曲に興味をひかれるのではないだらうか

研 持ちます

弘田 さうでせう、之が鑑賞です。故に踊りの伴奏を出鱈目に弾いてはいけない、伴奏が鑑賞に一番よいのぢやないか、それが一番忘れられない曲となる、レコードをきかせる事より、毎日のマーチなり踊りの時のピアノである、故に毎日同じマーチを弾くのは鑑賞上餘り良いとは云へない

その一方法としての音楽童話

童話の中にうちこんで勿論音楽を主としてきかせる、「川に行つたらね白い帆を張つたお舟がゆらゆら流れて來ましたよ」と云ひながらスケーターワルツをきかせ波のゼスチュアをして「綺麗でせう、よくききませうね」といふ、併し之には決して込み入つた筋があつてはならない、その曲を豫めよく擷んでおいて説明しながら曲そのものに耳を傾けさせる。

總論として前にも述べたが何度も何度も反復してきかせる事がくれぐれも大切

第三回

幼児のリズム

- 1、リズム遊びは、僅かな時間でする事、精々五分位
 - 2、同じ物を反復してすること、一月かゝつても二月かゝつても良い
 - 3、少しづつ直していつて最後に気分を出す。
 - 4、始めのうちは先生が指導し先にたつてさせるが次第に子供が主體となるやうにする
- リズムとは、簡單に云へば音の時間的相互關係を云ふ。音楽にリズムはつきものだが一定のリズムが表はれてゐる曲にもあるものである。
- リズムは一小節を越えなくてはならない、幼稚園に於け

るリズムは二小節が基本となる位の程度を可とするこゝで實際に叩いてみる。

切分音(Syneopation) 同じ音が弱から強へ延ばされるこ

幼稚園では切分音は小節にまたがつてはいけない

第四回

幼児の歌の作曲

幼児の歌の作曲は専門家の作曲ではない、幼児を知らない者は幼児を客觀的にみるから、作曲家より大人がなれば子供が喜ぶだらうと思つて作曲しても餘りピンミ來

ない場合が多い、だから理想を云へば幼児をよく知つてゐる保姆さん達が幼児の歌を作曲すればそれに越した事はないのである。幼児に歌はせる時何もやかましい伴奏などはなくてもよいのであり、單音で結構。作曲するといふは大變な様だがメロディを作ればよいのである。

メロディの研究

聲を出して歌ふのだから歌ふさいふ點に重きをおく、樂器に依らないで出来るなら聲で作曲する。出來た後でピアノを弾いて見て音を探り樂譜に現はす。

拍子は $\frac{3}{4}$ $\frac{4}{4}$ に限る。

調子はハ調 ト調 ニ調 ヘ調

(イ調 變口調) ↓ 特別の場合のみ

曲の終りは重複線

小節を區切る時は重線

調號(調子記號)



高音部記號



低音部記號

大譜表



半音 半レシメ、ノンレシメ

音階 } 長音階 } 幼稚園では必要にすぎない
短音階

移動下の歌ひ方

レレミファ...で歌ふにハ長調ニト長調では下の位

置が變る

固定下の歌ひ方

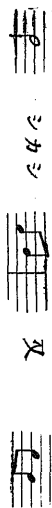
ハ長調をドレミファ…ミ歌ひ、ト長調ではソラシド…ミ歌ふミドが固定してゐる。

國民學校ではイロハで歌ふ事になつてゐる(音名唱法)

第五回

符の書き方

第三線上の音符の符尾は多く下方に著け時には前後の様子によつて上方につける



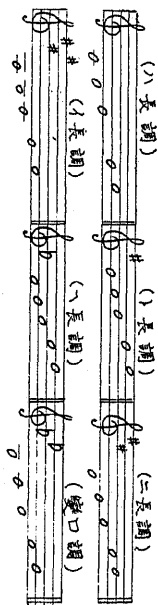
音階の基礎になる音を主音ミ云ひ(主音は二ヶ所出る) 主音より四度上の音を下屬音ミいひ 主音より五度上の音を屬音ミいひ 主音より七度上の音を導音ミいひ 主音に次ぐ重要な音は屬音、次に下屬音導音は主音に進行する性質が強い、従つて階段的に主音から下行する場合導音は最早その特性を失ひ、つゞいて階段的に行する。



五聲音階

以上に記した音階は七個の異なつた音階から成つてゐる

た。しかるに此の七個の音のうち下屬音ミ導音ミを除いたものを五聲音階ミいふ。 五聲音階は ドレミ△ソラ△下

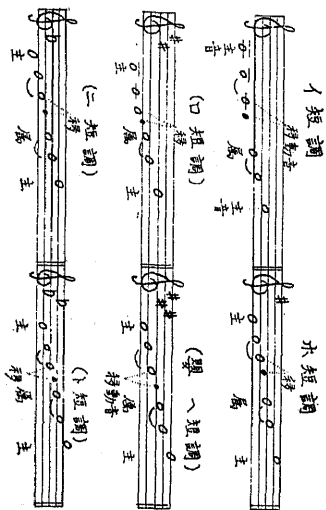


夕空晴れて 一ツフアだけ

ホタルの光 五聲音だけ

日本人は五聲音が好きである。幼稚園向だが、餘りこれ許りにするミ單純すぎる。

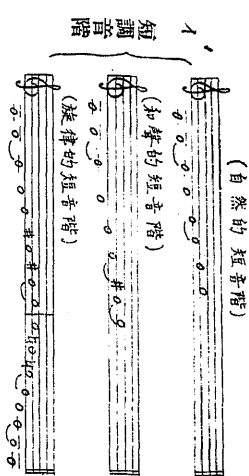
特別として幼稚園程度小學校低學年に於ては短音階に



よる五聲音が用ひられる。

第六回

五聲音階でない短音階は次の通りである。



然しながら幼稚園及び低學年に於ては特別として前記の五聲音階を用ひる。

移動音はその何れかの一音を用ひ得る事が出来るので、此の二個の音が並んで表れることは無い。

例へば ラシドミファ

しかし ラシレミファやラシドレミなどは並べない

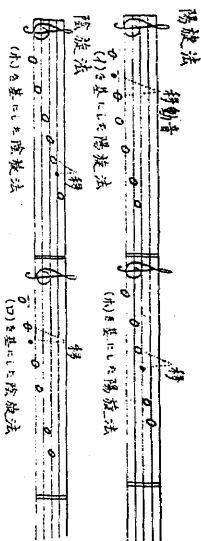
實例として 荒城の月

陽旋法、陰旋法

之は在來の日本音樂の音階で何れにも五聲音階である。之も特別として用ひられる。

幼稚園では 五聲音階の長音階

在來の日本音樂とは 三味線 琴 民謡 此の音階に



ついでには尙異説があつて決定されたものではない。

陽旋法 在來の童謡 ホ、ホ、ホタルコイ

陰旋法 六段 東京音頭など ミで終る此の音階は既

にあげた種々な調號のものに用ひられる。

第七回

作曲上注意すべきこと

1. 音域 一番低い音から高い音、(但音樂上の音域は樂に歌へる範圍)幼兒に不自然の發聲をしないで出来る音、尋一の音域(文部省で決定したもの) 二年頃やつミハ 出ない事はないが異様な聲が出る

幼稚

園で さいはれてゐたが之ではろくな曲 が出来ない故に(ニ)から(三)迄が

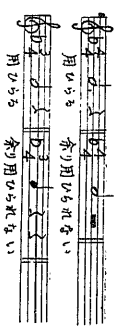
良い(ハ)の下第一線は例外にしたら無難

2 曲中には一切#(シャープ)♭(フラット)を用ひない

3 發想記號を用ひない、強弱をつけない、つまり不自



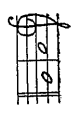
川邊音は用ひず



10 歌詞の内容を音によつて明瞭に表現する

- 1、歌詞をよく読み
- 2、調子を選ぶ
- 3、拍子を選
- らぶ
- 4、アクセントによる

11 高い(ハ)又は(ニ)の音



で餘り長くのばしてゐたり又之等の高い音が並んでいたりすることをさける方がよい

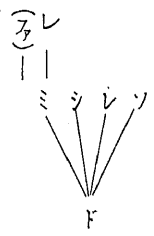
第八回 言葉のアクセント

外國語のアクセントは強弱であるが日本語のは高低關係である。言葉のアクセントに従つて音を配さねばならない。歌詞が數節よりなる場合作曲のアクセントは第一節によるのが普通、しかし三節の歌詞より成る場合には同じ箇所にあるものでアクセントの衝突を來す時は必ずしも第一節の歌詞にのみによらず同一のアクセントを有する歌詞の多い方に従ふ事がある。しかし幼稚園に於ける

唱歌では歌詞三節以上にわたるものは少ない、歌詞二節三節さいふのが普通。同じ箇所第一節と第二節の歌詞のアクセントが衝突した場合はすでにのべた様に第一節に従ふのもよく、或ひは同じ高さにするのも良い。

曲首の音
長調ではドミ又はソ、弱起の場合にはソに始まる事が多く、其の他ドミなきがある。短調ではラ又はミ弱起の時
はミ又はラ等、
曲尾の音

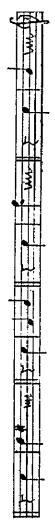
長調



短調



m は前に何のの音符をつける



主音に終止する。終止は樂語であつて單に主音に終るのではなくて、この曲の完結を示す事を意味する。

第九回

作曲の形式

(一) 四小節を基礎とする。此の四小節は又二個の二小節に分れてゐるが、それは密接に結合せられて四小節をもつて一個のまままつた小さい音樂的思想を表現して良し。



第十回

リズム遊びの實際

鞞ブラス 鞞ドラム

鶴見勝彦

a の四小節で思想を起し b で變化し a' でははじめの a を思ひ出しつゝ終止する。
従つて A^ミA^ミは全く同じ旋律である事もある。變化は前後の A の對稱なるもので曲想が高まつても又低まつてもそれは變化^ミなる。

- 一、ぶらんこく　　そーら押せ
青い空を　　つきぬけて
あの雲までも　　つかめそだ
二、ぶらんこく　　そら下つた
庭に黄菊が　　きれいだな
ポチがはねはね　　嬉しさうだ
三、ぶらんこく　　又上つた
戦地の兄さん　　元氣かな
お屋根に日の丸　　たつてゐる
四、ぶらんこく　　又下つた
ああ　母さんだ　　母さんだ
窓から僕を　　呼んでゐる
- 三十六 小節
一 第一形式 4 a 4 a' 4 b 4 a'
- (第一形式)

テシノウヘイカハ タフトイ オカタ
トホイ カミヨノ カミサマ
ミスエノ カミヂ イラワシル
テシノウヘイカハ タフトイ オカタ
ケフハ ワタシノ タンジャウ ビ
アカヤニ ナツテ ウマレタ ヒ
オトウ サマモ オカア サマモ
イハフ チ クダサル ウレシ ウレシ

a^ミa' で第一部分 b^ミa' で第二部分従つて之を第二部形式といふ。a^ミa' は八小節の作曲通りに作られる。b は變化、a' は a' を思ひ出して全曲を曲にする。a^ミa' は全く同じであり得る。
誕生日では a' で主音に終止してゐるが、天皇陛下では主音に終止してゐない、此の點が異なるが同一の形式で變化の B では決して主音に變化してはならぬ

い。終止せずに最後のa'を呼び出さねばならない。

二 第二形式

a' b a
十二小節の曲(主音に終止)

c 附加(主音に終止)

三 第三形式

a 附加

b' c b
十二小節の曲

四 第四形式

a' a
八小節の曲

b 八小節の曲

b' (變化せず(内容、節よく似てる))

五 第五形式

b a
八小節の曲

b' a'
八小節の曲

a'はaと同じか又は類似のもの
何れの形式を用ふべきかは歌詞によつて選ぶ

加野美好

一、やんだよやんだ 雨やんだ

小川の流れも 増してきた

ピョンピョン蛙が のんきさうに

ブツカリブカリミ 流れてる

二、浮いては沈み 又もぐり

お目をきよろきよろ あつあそこ

私のおうちだ さあ歸ろ

ピョン ピョン蛙の 川流れ

一年生

酒井信子

一、櫻の花の咲く頃は

僕も私も一年生

お手手つないで行きませうね

ほんきにほんきに待遠しい

二、もうく揃つたお道具は

お靴もランドも新しい

帽子のきしようが 光つてる

ほんきにほんきに 嬉しいな

三、僕が學校に行く頃は

支那でもお花が咲くかしら

遠い戦地の父様に

ほんきにほんきに見せたいな

此の外に二小節毎に切つてあるのがある。

例 荒城の月

繪本唱歌の曲を區別して見るミ

1 テフテフ { 4 a 4 a } 4分の2拍子

2 タンボボ $\left\{ \begin{array}{l} \text{ト長調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分の二拍子、
4b 4a' \parallel 第一形式

3 ママゴト $\left\{ \begin{array}{l} \text{イ短調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分の2拍子
4b 4a' \parallel 第一形式

4 コヒノボリ $\left\{ \begin{array}{l} \text{ハ長調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分ノ3拍子
4a' 4b 4a'' ミアは似てる

5 アカチャン $\left\{ \begin{array}{l} \text{ヘ長調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分の二拍子

6 マリナゲ $\left\{ \begin{array}{l} \text{ヘ長調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分の二拍子

7 オニゴッコ $\left\{ \begin{array}{l} \text{ト長調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分の二拍子
4a' 十二小節の第三形式

8 自動車 $\left\{ \begin{array}{l} \text{ヘ長調} \\ 4a \end{array} \right.$ 4分の二拍子
4a' (主音に終止) 4b

尚今迄の形式では、三小節或は二小節となり或は反對に擴張されて五小節又は六小節となる。

黒いもの 白いもの 赤いもの 橋本せい

一、黒黒黒いもの おつむの毛

黒くて黒くて サーラサラ

二、白白白いもの お口の齒

白くて白くて ピーカピカ

三、赤赤赤いもの ホッペです

赤くて 赤くて ツーヤツヤ

ねづみのかくれんぼ

一、ちゆうくくねずみのかくれんぼ

皆で揃つてジャンケンボン

二、ちゆうちゆうねずみのかくれんぼ

子猫のねてる間にモーイイカイ

三、ちゆうくくねずみのかくれんぼ

子猫の知らぬ間に もういーよ

四、ちゆうくくねずみのかくれんぼ

子猫の探す間に ミーツケタ

チユーリップ

おねんねしてゐた チユーリップ

みんなお夢を見てるでせう

ボカくくぬくいお日様が

ニコくく笑つて見てゐます

お目目さましたチユーリップ

「お日様お早う」云ひました

青いおつむのチユーリップ

もうじき お花が咲くでせう

辻 敬子

酒井信子

終止形(一)

……(一)(二)

(以上)